

【声明】「共謀罪」の「成立」を受けて

2017年6月15日

緑の党グリーンズジャパン運営委員会

連日国会を包囲した若者たちをはじめ多くの市民が抗議する中、深夜に始まった参院本会議で本日午前8時ころ、「共謀罪」法案が強行採決されました。

この法律は、国内外からさまざまな問題点が指摘され、私たちも見解を表明してきました（※1・2）。しかし政府は国会で質問にもまともに答えられず、法案の欠陥やほころびは次々明らかになっています。国連の特別報告者からの質問にも一切回答することなく、特別報告者に対して敵対感情を露わにしたのみで、独善的なその姿勢は、国連加盟国としての資質すら疑われています。

政府・与党が委員会での採決を省略する異常手段を強行したのは、政府が答弁不能に陥っていることでも明らかのように、彼らがこの法律の数々の問題点を自覚していることに加え、「森友・加計学園問題」で明らかになる安倍首相による行政の私物化に対して沸き起こる国民の怒りを抑え、その幕引きを図るためであることは明白です。

集団的自衛権の閣議決定や秘密保護法、安保法制などをはじめ、安倍政権による一連の行為は、民主主義の破壊そのものであり、これらに追随・加担する与党や維新の会などの責任も重大です。

今この瞬間にも、全国各地の街頭で、抗議行動が取り組まれています。私たちも、国会内外の多くの仲間達と連携し、基本的人権や民主主義、そして自由を守るため、これからもこの法律の廃止を求める声を上げ、行動を続けます。そして、来る都議選や衆院選において、自分たちも含め、立憲主義や民主主義を守る勢力の拡大を実現し、安倍政権を倒すため、全力を挙げて行きます。

※註

1) 2017年5月10日付論説「修整しても、罪刑法定主義を破壊し、言論の自由を脅かす本質は変わらない—共謀罪の速やかな廃案を！」

<http://greens.gr.jp/seimei/20195/>

2) 2017年5月24日付声明「『共謀罪』衆院強行採決に抗議します」

<http://greens.gr.jp/seimei/20319/>